

目次	ねらい	主な内容・項目の一例
第9章 再発に伴う諸問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発に伴って発生する現実的な問題(医学的・心理的問題以外の問題)への対応に関するヒントを提供する。</li> </ul> <p><b>※患者必携の内容を確認し、重複がない範囲で必要なことを記載</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療費の確保、</li> <li>・生活費の確保、</li> <li>・就職、</li> <li>・保険、<b>高額療養費</b></li> <li>・経済的なこと</li> <li>・仕事・保険について、</li> </ul>
第10章 死を考える「自分らしく生きるために」「生き考える」というタイトルの方かもしれない(生や死という言葉にとらわれる人もいるので慎重に検討)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の可能性がなくなった場合の安らかな生を全うするに必要なヒントを提供する。</li> </ul> <p><b>※余命を知りたくなる気持ちに沿う余命への言及。</b> <b>※こも体験談</b> <b>※家族にとってもつらい時期。家族にも力を与えられるもの。</b> <b>※死ぬまで生きる力がある、など</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余命の意味、</li> <li>・死の準備、</li> <li>・利用可能な施設</li> <li>・身辺整理のためのワークシート</li> <li>・生き甲斐としての社会貢献など</li> </ul> <p><b>※ノートに書き留め、気分がかわったら×印をつけて次に書き足した、など(体験談)</b></p>
第11章 これから これからどうなるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この先起きうる状況について</li> <li>・緩和ケア</li> <li>・終末期医療</li> </ul> <p><b>※療養の場の選択肢(在宅など)</b></p>	
第12章 家族およびサポートしてくれる方へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者をどう支えるか</li> <li>・家族のケア</li> <li>・家族はどう患者をサポートしていくか</li> </ul> <p><b>※家族は重荷を背負っているの、休んでもいいよ、自分の生活を犠牲にしなくてもいい、など。</b></p>	
関病記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関病の情報を提供し、サバイバーシップ、生き甲斐、ポジティブな心理の強化に資する。</li> <li>・関病記を所要所にバラす</li> <li>・体験談などはコラムとして、各章に入れる</li> <li>・各章に体験談</li> <li>・患者コラムは各章に入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種再発がん体験者の関病記、</li> <li>・医療者側の体験記</li> </ul>
医師への質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病状の正しい理解、治療法の適切な選択等に必要な質問事項の一例を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師への質問の一例</li> </ul>
付録 章立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語集</li> <li>・支援団体・機関などの一覧</li> <li>・支援団体・機関の紹介</li> <li>・支援団体・機関</li> </ul>	
支援団体・機関の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発に伴う諸問題の克服や、ポジティブな心理の強化等のため、利用可能な支援機関・団体に関する情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用可能な支援の種類、</li> <li>・機関・団体、</li> <li>・連絡先、ウェブサイトを</li> </ul>
用語集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発がんとその治療等の正しい理解に必要な用語に関する情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連用語及びその意味</li> </ul>
問合せ先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本冊子に関する問合せ先を明らかにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本冊子の問合せ先</li> </ul>

※ボールダイリックの箇所が第3回検討会において加えられた事柄。

## (資料9)

平成21年度厚生労働科学研究費補助金 (第3次対がん総合戦略研究事業)  
患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究  
(研究代表者：高山智子)

### 分担研究報告書

#### 日本版 Fact Sheet 作成のためのがん情報基礎データベースの構築方法に関する検討

分担研究者 高山智子 国立がんセンター がん対策情報センター  
がん情報・統計部 診療実態調査室 室長  
研究協力者 八重ゆかり 東京大学大学院医学系研究科 薬剤疫学講座

#### 研究要旨

患者・家族・一般市民が求めるがん情報を迅速・適切に提供するためには、正確でかつ根拠に基づいた医療情報の蓄積が求められる。海外における研究成果による世界標準での診療情報や治療法に関する情報とともに、日本人における疫学研究・臨床研究等に基づいた情報の蓄積は特に重要である。2008年度においては、米国国立がん研究所が提供しているがん関連情報の NCI Fact Sheet から選択した 96 Topics について、その日本語訳を作成するとともに、日本版 NCI Fact Sheet としてのがん情報基礎データベースの構築について検討した。日本のエビデンスに関するレビュー情報、すなわち①日本で作成された診療ガイドライン、②国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果、③「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」(日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著)から、日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報を収集・抽出、整理した。2009年度においてもこの作業を継続し、情報の拡充をはかった。さらに2009年度においては、がんに関する一般市民からの電話相談に寄せられた相談内容の分析とこれら収集・蓄積した情報との照合作業により、これらの収集・蓄積した情報は、患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報として機能し得るものか、また真に役立つ情報となるためにはさらに何が求められるのかについて検討した。その結果、現在、患者あるいは一般市民を利用対象として作成されている情報であっても、患者が求めている情報とは必ずしも一致していないことが明らかとなった。そして、患者向け情報として考慮されるべき新しい情報項目、および既存の情報項目において修正あるいは追加されるべき内容が抽出された。このことはまた、患者および市民に向けてのがん情報提供における、医療者が重要と考える医療情報と患者が現実的対応において重視する情報内容との乖離の存在を示唆するものであった。

#### A. 研究目的

本研究では、米国国立がん研究所が提供しているがん関連情報の NCI Fact Sheet から選択した 96 Topics について、その日本語訳

を作成するとともに、日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報を収集・整理し、日本版 NCI Fact Sheet としてのがん情報基礎データベースの構築について検討

し、さらにその効果的利用について検討すること目的とする。

## B. 研究方法

### 1. NCI Fact Sheet

#### (1) NCI Fact Sheet の日本語訳

NCI Fact Sheet から 96 topics を選択し、日本語訳を作成した。

#### (2) NCI Fact Sheet の構成分類

日本版 NCI Fact Sheet 作成作業のための基礎情報として、NCI Fact sheet の構成分類（項目立てに関するパターン分類；項目立てがあるか、項目が Clinical / Research Question 形式になっているか）を行った。分類項目は下記の 4 種類とした。

分類項目
A. 項目があり、すべての項目が CQ 形式である。
B. 項目がありかつ、CQ 形式の項目と CQ 形式でない項目の両方が混在している。
C. 項目がありかつ、すべての項目が CQ 形式ではない。
D. 項目がない。

### 2. 日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報の収集・整理

本研究においては、がん関連情報に関するレビュー情報を収集し、そこから日本のエビデンスに関する情報を抽出・整理することとした。レビュー情報を抽出するための 1)情報源の特定と 2)情報の抽出手順を以下に示す。なお、各情報源からの関連情報抽出 Flow の詳細については、資料 1 に示した。

#### (1)情報源の特定

以下に示す情報源から、日本のエビデンスに関するレビュー情報を抽出することとした。

#### ① 日本で作成された診療ガイドライン

A (財)日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部のガイドライン収集資料

B 金原出版の診療ガイドライン・シリーズとして出版されているガイドライン

C 日本癌治療学会がホーム・ページで提供しているガイドライン

#### ② 国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果

A 「多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」（主任研究者 津金昌一郎 国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部長）； Japan Public Health Center-based Prospective Study: JPHC Study の結果の概要

B 「生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究」（主任研究者 津金昌一郎 国立がんセンターがん予防・検診研究センター予防研究部長）； Development and Evaluation of Cancer Prevention in Japan の「現状において日本人に推奨できるがん予防法」

③ 生活習慣と主要部位のがん-世界がん研究基金/米国がん研究協会編「食物・栄養とがん予防」の日本人への適用性- 日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著

#### (2)情報の抽出手順

上記①～③に示した情報源からの抽出対象情報の特定方法と抽出方法を以下に記述する。

#### ① 日本で作成された診療ガイドライン

A (財)日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部のガイドライン収集資料

(財) 日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 (Minds) では、国内で作成されている診療ガイドラインの収集・保管を行っており、国内で作成された診療ガイドライン情報の検索に基づく診療ガイドライン・リストを作成している (ガイドライン・リストの作成方法については資料 2 参照)。この診療ガイドライン・リストは、書籍として作成されているガイドライン、論文発表の形式で公表されているガイドライン、厚生労働科学研究報告書または文部科学研究報告書として公表されているガイドライン等について、それぞれの標題一覧として作成されている。このうち、書籍として作成されているガイドラインの標題一覧データの提供を受け、その中から、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断されたガイドラインを抽出した。同一のガイドラインについて、複数年にわたって改定版が発行されている場合には、最新年の版を採択することとした。

その後、採択したガイドラインから、関連する内容の抽出を行った。本研究では主に乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、胃がんの 6 癌腫を優先的に作業する対象疾患とした。

#### B 金原出版の診療ガイドライン・シリーズとして出版されているガイドライン

金原出版株式会社ホームページには 2009 年 12 月 14 日現在、診療ガイドラインとして 38 冊が紹介されている (資料 3)。その中から、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断されたガイドラインを選定した。つぎに、選定されたガイドライン中に記載されている情報の中から、96 topics に関連する内容を抽出した。

#### C 日本癌治療学会がホームページで提供しているガイドライン

日本癌治療学会ホームページの「がん診療ガイドライン」のページ

(<http://www.jsco-cpg.jp/top.html>) には、2009 年 12 月 14 日現在、胃がん、GIST、食道がん、腎がん、膵がん、大腸がん、胆道がん、乳がん、皮膚悪性腫瘍、卵巣がん、肝がん、子宮頸がん、子宮体がん、小児白血病の 14 ガイドラインが公開されている (資料 4)。これらガイドラインのうち、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断されたガイドラインを選定した。

情報抽出基準としては、本 website (日本癌治療学会ホームページの「がん診療ガイドライン」のページ) 上に掲載されている内容と、そこに情報源として提示されている「ガイドライン (書籍等)」の内容を比較し、「ガイドライン (書籍等)」中にある情報は、A で選択したガイドラインからの情報として抽出することとし、それ以外の内容がある場合に、本 website からの情報として抽出することとした。

#### ② 国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果

##### A 「多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」(JPHC Study) 結果の概要

JPHC Study の結果概要として、2009 年 12 月 14 日現在、109 項目が公表されている (資料 5)。それらの中から、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断された項目を選定し、その「概要部分」から関連する内容の抽出を行った。

##### B 「生活習慣改善によるがん予防法の開発

に関する研究」

「生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究」ホームページの「現状において日本人に推奨できるがん予防法」の項目に、2009年2月20日現在、6項目が提示されている（資料5）。それらの中から、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断された内容を抽出した。

- ③ 「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」  
日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著

書籍「生活習慣と主要部位のがん-世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」（日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著）には、食物・栄養とがんとの関連に関する過去における研究の知見が下記の癌腫ごとにまとめられている。そのうち、米国 NCI Fact sheet から選択された 96 topics に関連していると判断された情報を抽出した。

<食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がん>

1. がん関連電話相談に寄せられた相談内容の、質的分析および日本の患者/一般向け診療ガイドラインで提供されている情報との照合

日本で作成された既存情報の一つである、一般用に作成された「患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 版」と電話相談に寄せられた乳がんの相談 24 事例の相談内容の照合を行った。

詳細については、本報告書「6. 相談者からの質問・疑問 (Lay Topics) の抽出方法と Lay

Topics 活用の可能性の検討を参照。

## C. 研究結果

### 1. NCI Fact Sheet

#### (1) NCI Fact Sheet からの topics 選択

2008 年度では、NCI Fact Sheet から、日本語訳作成と日本における疫学および臨床研究等によるエビデンス情報抽出作業の対象とする 96 topics を選択した。また、これら 96 topics 以外の中で、日本版の診療ガイドラインが整備されている topics を確認し追加する 12 topics を抽出し、エビデンス情報抽出作業対象とすることとした。ただしその後、1 topic が NCI Fact Sheet から項目削除されていたため追加項目は 11 topics となった。その結果 2009 年度においては、エビデンス情報抽出作業の対象 topics の合計数は 107 (96+11) topics となった。以下には追加項目候補となった 12 topics の一覧を表 1 に示す。

#### (2) NCI Fact Sheet の日本語訳

NCI Fact Sheet から選択した 107 topics すべてについて日本語訳を作成しデータベース化した。

#### (3) NCI Fact Sheet の構成分類

NCI Fact Sheet から選択した 107 topics について構成分類を行った結果、以下のとおりであった。そのほとんどが Clinical Question (CQ) 形式であったが、それ以外の形式（項目名とその内容説明の形式）だけの Topics や、両者が混在しているもの、また項目立てのない Topics も少数ではあるが存在していた。

分類項目	該当 Topics 数
A. 項目があり、すべての項目が CQ 形式である。	59
B. 項目がありかつ、CQ 形式の項目と、CQ 形式でない項目の両方が存在している。	13
C. 項目がありかつ、すべての項目が CQ 形式ではない。	29
D. 項目がない。	6
計	107

#### (4) NCI Fact Sheet Topics 改訂情報 (改訂日) の確認

2008 年 10 月末と 2009 年 4 月 23 日に、対象としている NCI Fact Sheet 情報の公開/改訂の日付 (Posted/Reviewed/Updated として示されている) を確認した結果、2008 年 10 月末～2009 年 4 月 23 日の間に情報更新された Topics 10 件と削除された Topics 2 件が確認された (表 2)。なお、NCI Fact Sheet の website に公開されている全項目を 2009 年 2 月 16 日時点と 4 月 23 日時点で比較した結果、新たに項目追加されたものはなかった。

#### 2. 日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報の収集・整理

##### (1) 情報源の特定結果

##### ① 日本で作成された診療ガイドライン

A (財) 日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部のガイドライン収集資料、B 金原出版の診療ガイドライン・シリーズとして出版されているガイドライン、及び C 日本癌治療学会がホーム・ページで提供しているガイドライン、それぞれのガイドライン一覧から、NCI Fact Sheet の 96 topics に関連する内

容を含むと思われるガイドラインの選定を行った。その結果、表 3 に示す 43 Topics に対して、計 170 ガイドライン (同一のガイドラインが関連するものとして異なる Topics に複数回選定されている場合は、それぞれの Topics ごとにカウントした) が選定された。

##### ② 国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果

A 「多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する研究」(JPHC Study) 結果の概要

2008 年度は項目 No. 1～91 すべてを通覧し、96 topics に関連する内容を含むと思われる項目の選定を行ったところ、以下に示す 15 Topics に対して、計 35 項目 (同一の項目が、関連するものとして異なる Topics に複数回選定されている場合は、それぞれの Topics ごとにカウントした。) が情報抽出対象項目として選定された。なお、2009 年度においてはさらに No. 92～109 までの 18 項目が追加公開されており、この 18 項目からの情報抽出は今後の作業予定である (表 4)。

##### B 「生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究」

資料 6 に掲載した 6 項目として提示されている内容は、他の情報源から得られる情報に含まれるものであったため、この情報源からの個別情報としては抽出しなかった。

③ 「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」  
日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著

本書籍に収載されている情報のうち、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がんの 11 項目が情報抽出対象となった。それぞれが該当した Topics は 5 Topics であった (表 5)。

## (2)情報の抽出結果

### ① 日本で作成された診療ガイドライン

本研究では主に乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮頸がん、胃がんの 6 癌腫を優先的に作業する対象疾患とし、以下のガイドラインから優先的に 96 topics ごとの関連内容の抽出作業を実施することとした。

#### <乳がん>

- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (1)薬物療法 2007 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (2)外科療法 2005 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (3)放射線療法 2008 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (4)検診・診断 2005 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (5)疫学・予防 2008 年版
- ・乳房温存療法ガイドライン医療者向け「標準的な乳房温存療法の実施要項の研究」班に基づく治療指針 2005 年

#### <肺がん>

- ・EBM の手法による肺癌診療ガイドライン 2005 年版
- ・有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン 2006 年

#### <大腸癌>

- ・大腸癌治療ガイドラインの解説 2006 年版

大腸癌について知りたい人のために 大腸癌の治療を受ける人のために

2008 年度において抽出作業を完了したガイドラインは、上記のうち以下である。

- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (1)薬物療法 2007 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (2)外科療法 2005 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (3)放射線療法 2008 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (4)検診・診断 2005 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (5)疫学・予防 2008 年版
- ・乳房温存療法ガイドライン医療者向け「標準的な乳房温存療法の実施要項の研究」班に基づく治療指針 2005 年

2009 年度においては上記ガイドラインのうち、以下の 2 つについては改定版が発行された。情報更新作業完了は今後の予定である。

- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (2)外科療法 2005 年版→2008 年版
- ・科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン
- (4)検診・診断 2005 年版→2008 年版

2009 年度においては下記ガイドラインからの情報抽出を優先して実施した。

- ・患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 年版

### ② 国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果

96 topics のうち、15 topics に関連した内容が抽出された。抽出された内容は主として胃癌、乳癌、大腸癌、前立腺癌、肺癌に関する

るものであった。

- ③ 「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」  
日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著

96 Topicsのうち5 Topicsに関連した内容として、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がんの11項目から情報抽出した。

2. がん関連電話相談に寄せられた相談内容の、質的分析および日本の患者/一般向け診療ガイドラインで提供されている情報との照合

今回の検討から相談者からあげられた質問/疑問の「乳がん診療ガイドライン」に対応する領域は、その他に分類された8名(全24名のうち33.3%)からあげられた28の質問や疑問(全Lay Topicsの17.5%)を除いては、ある程度「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」で対応可能であった。しかし逆に言うと、24名から出された質問や疑問の内の1/3が、既存の情報だけでは回答できない領域のものであった。

#### D. 考察

今回検討を行ったNCI Fact Sheet、日本のエビデンスに関するレビュー情報は、情報の削除を含む更新が少なからず行われていた。また今回は、日本においてエビデンス情報としてまとめられている12トピックスに相当する領域についても、NCI Fact Sheetの対象トピックスを追加して検討を行った。NCI Fact Sheetの情報をもとに、日本のエ

ビデンスに関するレビュー情報で書かれている内容を比較すると、それぞれのエビデンス情報としてまとめられた領域のNCI Fact Sheetのカバー範囲と領域が異なることは、昨年度と同様に確認された。

さらに2009年度において行った、がんに関する一般市民からの電話相談に寄せられた相談内容の分析とこれら収集・蓄積した情報との照合作業により、相談者からあげられた質問/疑問が「乳がん診療ガイドライン」に対応する領域は、その他に分類された8名(全24名のうち33.3%)からあげられた28の質問や疑問(全24名からあげられたLay Topicsの17.5%)を除いては、ある程度「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」で対応可能であった。しかし逆に言うと、約1/3にあたる相談者の質問や疑問には、エビデンスとして準備されている既存の情報だけでは対応不可能であったといえることができる。今後このギャップをうめるために、実際の相談者から寄せられる質問や疑問に即した情報づくり、整備が進められる必要があるだろう。

#### E. 結論

昨年度に引き続き、米国国立がん研究所が提供しているがん関連情報のNCI Fact Sheetから選択した96 Topicsの日本語訳の作成と、日本版NCI Fact Sheetとしてのがん情報基礎データベースの構築について、日本のエビデンスに関するレビュー情報、すなわち①日本で作成された診療ガイドライン、②国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果、③「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」



(日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著)から、日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報を更新、拡充し、収集・抽出、整理した。

NCI Fact Sheet の情報をもとに、日本のエビデンスに関するレビュー情報で書かれている内容を比較すると、それぞれのエビデンス情報としてまとめられた領域の NCI Fact Sheet のカバー範囲と領域が異なることは、昨年度と同様に確認された。

さらに 2009 年度において行った、がんに関する一般市民からの電話相談に寄せられた相談内容の分析とこれら収集・蓄積した情報との照合作業により、現在日本でエビデンスとして準備されている既存の情報だけでは相談者の質問や疑問に対しては対応不可能な内容も多く含まれており、今後このギャップをうめるために、実際の相談者から寄せられる質問や疑問に即した情報づくり、整備が進められる必要があると考えられた。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

1. 論文発表
2. 学会発表

#### H. 知的財産権の出願

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

表 1. エビデンス情報抽出作業対象に追加する候補項目となった 12 topics

(No. 4 は 2009 年度に移行する段階で 1 topic が NCI Fact Sheet から項目削除された)

No.	NCI No.	Subjects	Topics of the Fact Sheet	対応する内容があると思われる日本のガイドライン
1	7	Cancer Type	Inflammatory Breast Cancer: Questions and Answers	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版
2	13	Cancer Type	Soft Tissue Sarcomas: Questions and Answers	軟部腫瘍診断ガイドライン (2005)
3	18 155	・ Risk Factors and Possible Causes ・ About NCI	H. pylori and Pancreatic Cancer: Fact Sheet	科学的根拠に基づく胃癌診療ガイドライン 2006 年版
4	71	Detection/Diagnosis	Digital vs. Film Mammography in the Digital Mammographic Imaging Screening Trial (DMIST): Questions and Answers	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版 マンモグラフィガイドライン第 2 版増補版 (2007) マンモグラフィを導入した乳癌検診システムのガイドライン (1997)
5	72	Detection/Diagnosis	Early Prostate Cancer: Questions and Answers	前立腺癌診療ガイドライン 2006 年版 前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン (2008)
6	73	Detection/Diagnosis	Improving Methods for Breast Cancer Detection and Diagnosis	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版 マンモグラフィガイドライン第 2 版増補版 (2007) マンモグラフィを導入した乳癌検診システムのガイドライン (1997)
7	75	Detection/Diagnosis	Ovarian Cancer Research Results from the Prostate, Lung, Colorectal and Ovarian (PLCO) Cancer Screening Trial: Fact Sheet	卵巣がん治療ガイドライン 2007 年版
8	124	Support/Coping/Resources	The Prostate Cancer Outcomes Study: Fact Sheet	前立腺癌診療ガイドライン 2006 年版
9	183	Cancer Advances In Focus	Cancer Advances In Focus: Breast Cancer	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版
10	184	Cancer Advances In Focus	Cancer Advances In Focus: Cervical Cancer	子宮頸癌治療ガイドライン 2007 年版

表2. 2008年10月末～2009年4月23日の間に情報更新された  
Topics 10件と削除された Topics 2件

テーマ ID	テーマ日本語訳	テーマ英語	URL	項目 の	Posted/ Reviewed	Posted/ Reviewed-2
024	アスベスト暴露	Asbestos Exposure: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Risk/asbestos">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Risk/asbestos</a>	A	2007/2/1	2009/4/16
057	乳がん予防研究	Breast Cancer Prevention Studies	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Prevention/breast-cancer">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Prevention/breast-cancer</a>	C	2005/6/1	2008/7/23
058	がんワクチン	Cancer Vaccine Fact Sheet	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine</a>	A	2006/6/8	2009/3/17
086	パップテスト	The Pap Test: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/Pap-test">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/Pap-test</a>	A	2007/3/29	2009/2/2
087	PSA 検査	The Prostate-Specific Antigen (PSA) Test:	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/PSA">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/PSA</a>	A	2007/8/21	2009/3/18
092	血管形成阻害療法	Angiogenesis Inhibitors Therapy: Questions and	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Therapy/angiogenesis-inhibitors">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Therapy/angiogenesis-inhibitors</a>	A	2008/8/13	2008/11/6
097	がんワクチン	Cancer Vaccine Fact Sheet	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine</a>	A	2006/6/8	2009/3/17
119	がん支援団体	Cancer Support Groups: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/support/support-groups">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/support/support-groups</a>	B	2002/2/25	NCI Fact Sheet に項目なし
121	がんをもつ人々への経済援助と他の資源	Financial Assistance and Other Resources for People With	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/financial-resources">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/financial-resources</a>	C	2002/2/28	2009/2/5
122	がん患者の在宅ケア	Home Care for Cancer Patients	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/home-care">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/home-care</a>	D	2007/3/30	2009/3/9
131	あなたのヘルスケアチーム:あなたの医師ははじまりに過ぎない	Your Health Care Team: Your Doctor Is Only the Beginning	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/healthcare-team">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/healthcare-team</a>	C	2000/4/19	NCI Fact Sheet に項目なし
157	インターネット上の健康情報の評価をどうするか	How To Evaluate Health Information on the Internet:	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Information/internet">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Information/internet</a>	B	2005/9/1	2009/3/6

2008年11月確認以降に、  
reviewed/Updatedの日付が新しく  
なっていた項目

表3. 以下に示す43 Topicsに対して、計170ガイドライン（同一のガイドラインが関連するものとして異なるTopicsに複数回選定されている場合は、それぞれのTopicsごとにカウントした）が選定された。

No	Topics ID	Topics タイトル
1	017	ピロリ菌とがん
2	019	中絶、流産と乳がんのリスク
3	032	乳がんリスクの推定
4	035	BRCA1 と BRCA2 の遺伝子検査：あなたの選択
5	037	ヒト・パピロマウイルスとがん
6	039	磁場暴露とがん
7	040	閉経後ホルモン補充療法とがん
8	043	NCI 乳房再建研究
9	046	肥満とがん
10	047	経口避妊薬とがんのリスク
11	048	妊娠と乳がんのリスク
12	049	心理的なストレスとがん
13	051	HPV と子宮頸ガンに関する最近の研究
14	052	シリコン乳房インプラントと乳がんのリスク
15	054	抗生物質の使用と乳がんリスクの増加との関係が発見
16	057	乳がん予防研究
17	058	がんワクチン
18	063	身体活動とがん
19	064	前立腺がん予防試験
20	070	タモキシフェンとラロキシフェン研究
21	072	大腸がんスクリーニング
22	073	CT
23	080	アメリカ女性の乳がんのなりやすさ
24	083	マンモグラムのスクリーニング
25	084	肺がんスクリーニングのスパイラル CT
26	085	病期分類
27	086	パップテスト
28	087	PSA 検査
29	089	腫瘍マーカー
30	091	乳がんの補助療法
31	096	骨髄移植と末梢血幹細胞移植
32	098	閉経後早期乳がんの再発低下のためのタモキシフェン使用後のプラセボとレトロゾール比較試験
33	099	がん治療の代替補完医療
34	104	がんの遺伝子治療
35	105	ハーセプチン R
36	111	予防的乳房切除術
37	113	がんの放射線療法
38	114	センチネルリンパ節生検
39	116	タモキシフェン
40	117	標的がん療法
41	120	終末期ケア
42	133	たばこ喫煙とがん
43	156	臨床試験

表 4. 2009 年度に追加公開された No. 92~109 までの 18 項目

No.	Topics ID	Topics タイトル	JPHC No.	JPHC タイトル
1	017	ピロリ菌とがん	37	ヘリコバクター感染と胃がん罹患との関係: CagA およびペプシノーゲンとの組み合わせによるリスク
			66	分化型胃がんと未分化胃がんにおけるヘリコバクター・ピロリ感染の意味について
2	032	乳がんリスクの推定	44	体格と乳がん罹患の関連について
3	040	閉経後ホルモン補充療法とがん	28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がんとの関係について
4	046	肥満とがん	17	肥満度 (BMI) とがん全体の発生率との関係について
			32	肥満指数 (BMI) 、身長と前立腺がんの関係について
			55	肥満指数・運動量、喫煙・糖尿病歴と膵がんとの関連について
5	047	経口避妊薬とがんのリスク	28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がんとの関係について
6	048	妊娠と乳がんのリスク	43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について
7	057	乳がん予防研究	21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について
			44	体格と乳がん罹患の関連について
			65	血中のイソフラボン濃度と乳がん罹患との関係について
			9	大豆・イソフラボン摂取と乳がん発生率との関係について
8	063	身体活動とがん	42	身体活動量と大腸がん罹患との関連について
			55	肥満指数・運動量、喫煙・糖尿病歴と膵がんとの関連について
9	064	前立腺がん予防試験	32	肥満指数 (BMI) 、身長と前立腺がんの関係について
10	069	お茶とがん予防	16	緑茶飲用と胃がんとの関連について
			56	緑茶・コーヒー摂取と膵がんとの関連について
			60	緑茶飲用と前立腺がんとの関連について
			64	血中の緑茶ポリフェノールと胃がん罹患との関連について
11	072	大腸がんスクリーニング	47	大腸がん検診受診と大腸がん死亡率との関係
12	089	腫瘍マーカー	34	高感度 CRP (C 反応性蛋白) と大腸がん罹患との関係について
13	133	たばこ喫煙とがん	10	お酒・たばこと大腸がんの関連について
			14	喫煙とがん全体の発生率との関係について
			21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			4	飲酒とがん死亡率との関係について: たばこの影響
			5	たばこと肺がんとの関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について
			7	たばこ・お酒と胃がんの関連について
14	149	受動喫煙	21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について
15	152	女性と喫煙	14	喫煙とがん全体の発生率との関係について
			21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について

表 5. 食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がんの 11 項目が該当した 5 Topics

No.	Topics ID	Topics タイトル	がん疫学研究 目次番号	がん疫学研究目次名
1	046	肥満とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
2	063	身体活動とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
3	069	お茶とがん予防	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
4	133	たばこ喫煙とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
5	149	受動喫煙	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん

## 資料 1

### 日本版 NCI Fact sheet 作成のための ガイドラインからの情報抽出作業 Flow

#### 1 ガイドラインの選択基準

- ・同じ疾患に関するガイドラインが複数存在する場合には、情報抽出用としては発行年の新しいものを選択する。
- ・CQ 形式のもの、テキスト Book 形式のもの、については CQ 形式のものを優先とする。

#### 2 ガイドライン中から、NCI Fact Sheet の Topics に該当する Clinical Question (CQ) の選択

以下のどちらの場合もあり得ることを認識しておき、NCI Fact Sheet の各 Topic にガイドライン中の情報になるべくもれなく抽出されるようにする。

- ・NCI Fact Sheet の 1 Topic に、ガイドライン中の複数の CQ が該当する場合
- ・ガイドラインの 1 CQ に、NCI Fact Sheet の複数 Topics が該当する場合

#### 3 CQ に記載されている内容から、Topics に関連する内容を抽出

抽出する場所: 主に Recommendation の部分を抽出するが、必要に応じて、Recommendation の元となった解説部分やエビデンスに関する記載の部分からも抽出する。

抽出時の注意点: Recommendation 部分、解説部分やエビデンスに関する記載の部分のいずれからの場合でも、抽出する情報が以下のどの情報にあたるかを分類しつつ、その分類の情報として適切な内容・表現になっているかを意識して抽出する。

- (1) 疫学的情報 (有病割合、予後など)
- (2) 危険因子に関する情報 (疾病の原因など)
- (3) 予防または治療の介入効果に関する情報 (介入により得られるメリット)
- (4) 予防または治療の介入による有害作用に関する情報 (介入から受けるデメリット)
- (5) 診断方法に関する情報
- (6) その他

#### 4 抽出内容について、以下について区別する。

- (1) 情報内容-1: 結論としての内容
- (2) 情報内容-2: 根拠に関する情報 (研究結果の内容など)
- (3) 情報源に関する内容 (研究そのものに関する情報)

#### 5 共通の Topic に対して異なるガイドラインからの抽出情報がある場合には、整合性があるかどうかを確認する。整合性がない内容については、その旨をそれぞれの情報に明記しておく。

事例: PSA 検査の Topic 関し、前立腺がん検診の以下の 2 ガイドラインにおける内容

- ・前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 構造化抄録 CD-ROM 付 (第 1 版) 日本泌尿器科学会ほか 2008 年 4 月 1 日
- ・有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン 平成 19 年度 厚生労働省がん研究助成金「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」班 2008 年 3 月 31 日

資料 2

Minds 診療ガイドライン・データについて

診療ガイドライン検索方法(2007 年度)

データベース	抽出条件
AMAZON	医学・薬学の 카테고리の中で、書籍のタイトルに "ガイドライン"の記載のあるもの
日本医書出版協会	書籍タイトル (準書名・書名・副題・シリーズ名) に "ガイドライン"の記載のあるもの
厚生労働科学研究成果データベース	全項目 (研究課題名、要旨等) に、"ガイドライン"の記載のあるもの
文部科学省データベース	医歯薬分野の中で、全項目 (研究課題名、要旨等) に、"ガイドライン"の記載のあるもの
医学中央雑誌	研究デザイン項目に、"診療ガイドライン"が付与されているもの (1999 年以降 付与開始)
東邦大学医学メディアセンター	全てのデータを抽出
日本医科大学電子図書館 EBM ガイドライン	全てのデータを抽出
今日の治療指針(医学書院) 付録: 診療ガイドライン	全てのデータを抽出
ガイドライン外来診療(日経メディカル開発)	目視にて診療ガイドラインの情報を抽出、手入力



## 資料 3

## 付録 1. 金原出版株式会社ホーム・ページで紹介されている診療ガイドライン 38 冊 (2009 年 12 月 14 日現在)

No.	標題	作成者	発行日
1	食道癌診断・治療ガイドライン(第2版)	編) 日本食道学会	2007/04/10
2	胃癌治療ガイドライン(医師用)2004年4月改訂(第2版)	編) 日本胃癌学会	2004/04/30
3	胃がん治療ガイドラインの解説(一般用)2004年12月改訂 胃がんの治療を理解しようとするすべての方のために(第2版)	編) 日本胃癌学会	2004/12/20
4	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2009年版	編) 大腸癌研究会	2009/07/03
5	大腸癌治療ガイドラインの解説 2009年版 大腸癌について知りたい人のために 大腸癌の治療を受ける人のために(第2版)	編) 大腸癌研究会	2009/01/20
6	科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン 2009年版 アブストラクトフォーム集CD-ROM付き(第2版)	編) 日本肝臓学会	2009/11/24
7	科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン 2009年版 構造化抄録CD-ROM付(第2版)	編) 日本膵臓学会 膵臓診療ガイドライン委員会	2009/10/05
8	急性膵炎診療ガイドライン 2010(第3版)	編) 急性膵炎診療ガイドライン 2010改定出版委員会ほか	2009/07/30
9	内視鏡外科診療ガイドライン 2008年版(第1版)	編) 日本内視鏡外科学会	2008/09/01
10	EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2005年版(第2版)	編) 日本肺癌学会	2005/11/20
11	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 1. 薬物療法 2007年版 構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本乳癌学会	2007/06/29
12	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 2. 外科療法 2008年版 構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
13	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 3. 放射線療法 2008年版構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
14	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 4. 検診・診断 2008年版構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
15	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 5. 疫学・予防 2008年版構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
16	乳腺における細胞診および針生検の報告様式ガイドライン(第1版)	編) 日本乳癌学会	2003/06/05
17	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009年版(改定第2版) 旧版: 乳がん診療ガイドラインの解説 2006年版 乳がんについて知りたい人のために	編) 日本乳癌学会 編) 日本乳癌学会	2009/07/03 2006/07/07
18	子宮体癌治療ガイドライン 2009年版(第2版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2009/11/30
19	子宮頸癌治療ガイドライン 2007年版(第1版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2007/10/20
20	卵巣がん治療ガイドライン 2007年版(第1版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2007/10/20
21	前立腺癌診療ガイドライン 2006年版 構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編) 日本泌尿器科学会	2006/05/20
22	腎癌診療ガイドライン 2007年版 構造化抄録 CD-ROM付(第1版)	編集) 日本泌尿器科学会	2007/10/10
23	精液検査標準化ガイドライン 付.CD-ROM(第	監修) 日本泌尿器科学会	2003/07/20

	1 版)	編) 精液検査標準化ガイドライン作成ワーキンググループ	
24	生殖医療ガイドライン 2007 (改訂第 3 版)	編) 日本生殖医学会	2007/08/01
25	尿路結石症診療ガイドライン (第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会ほか	2002/12/20
26	尿路感染症臨床試験ガイドライン (第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会尿路感染症臨床試験ガイドライン作成委員会	1998/02/28
27	臨床試験実施ガイドライン 第 III 相試験を中心として 2008 年 3 月(第 2 版)	編) 日本癌治療学会臨床試験委員会	2008/09/20
28	小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン (第 1 版)	編) 日本小児血液学会	2007/09/28
29	小児急性中耳炎診療ガイドライン 2009 年版 (改訂第 2 版)	編) 日本耳科学会	2008/12/26
30	嚥下障害診療ガイドライン 耳鼻咽喉科外来における対応 2008 年版 嚥下内視鏡検査の実際 動画 CD-ROM・付(第 1 版)	編) 日本耳鼻咽喉科学会	2008/08/01
31	科学的根拠に基づく皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン 構造化抄録 CD-ROM 付き(第 1 版)	編) 日本皮膚悪性腫瘍学会	2007/04/20
32	G I S T 診療ガイドライン 2008 年 9 月改定 (第 2 版)	編) 日本癌治療学会ほか	2008/11/15
33	前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会ほか	2008/04/01
34	外来がん化学療法看護ガイドライン 1.抗がん剤の血管外漏出の予防・早期発見・対処 2009 年版(第 1 版)	編) 聖路加看護大学外来がん化学療法看護ワーキンググループ	2008/12/26
35	科学的根拠に基づく口腔癌診療ガイドライン 2009 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本口腔腫瘍学会口腔癌治療ガイドライン作成ワーキンググループほか	2009/01/30
36	リンパ浮腫診療ガイドライン 2008 年度版 (第 1 版)	編) リンパ浮腫診療ガイドライン作成委員会ほか	2009/01/20
37	頭頸部癌診療ガイドライン 2009 年版(第 1 版)	編) 日本頭頸部癌学会	2009/03/10
38	精巣腫瘍診療ガイドライン 2009 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会	2009/10/20

資料 4

日本癌治療学会ホーム・ページの「がん診療ガイドライン」のページに公開されている  
14 癌腫 (2009 年 12 月 14 日現在)

No.	疾患	URL	情報元の学会等
1	胃がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/01/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/01/index.html</a>	日本胃癌学会
2	GIST	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/03/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/03/index.html</a>	日本癌治療学会 GIST ガイドライン委員会
3	食道がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/09/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/09/index.html</a>	日本食道学会
4	腎がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/10/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/10/index.html</a>	日本泌尿器科学会
5	膵がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/11/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/11/index.html</a>	日本膵臓学会
6	大腸がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/13/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/13/index.html</a>	大腸癌研究会
7	胆道がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/14/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/14/index.html</a>	日本肝胆膵外科学会
8	乳がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/16/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/16/index.html</a>	日本乳癌学会
9	皮膚悪性腫瘍	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/21/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/21/index.html</a>	日本皮膚悪性腫瘍学 会
10	卵巣がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/22/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/22/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
11	肝がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/02/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/02/index.html</a>	日本肝臓学会
12	子宮頸がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/06/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/06/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
13	子宮体がん	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/24/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/24/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
14	小児白血病	<a href="http://www.jSCO-cpg.jp/item/08/index.html">http://www.jSCO-cpg.jp/item/08/index.html</a>	日本小児血液学会

## JPHC Study の結果概要として公開されている 109 項目 (2009 年 12 月 14 日現在)

No.	項目名	公開年月日
1	飲酒と死亡	1999.2.24
2	喫煙と死亡	2002.1.25
3	肥満指数と死亡	2002.1.25
4	飲酒とがん死亡	2002.5.1
5	喫煙と肺がん罹患	2002.7.10
6	アンケート回答有無と死亡	2002.7.10
7	喫煙・飲酒と胃がん罹患	2002.11.20
8	野菜・果物摂取と胃がん罹患	2002.11.20
9	大豆イソフラボン摂取と乳がん罹患	2003.6.17
10	飲酒・喫煙と大腸がん罹患	2004.1.18
11	食塩塩蔵食品と胃がん罹患	2004.1.18
12	飲酒と脳卒中罹患	2004.3.15
13	食生活パターンと胃がん罹患	2004.4.16
14	喫煙とがん罹患	2004.4.23
15	野菜・果物摂取量と肺がん罹患	2004.5.22
16	緑茶飲用と胃がん罹患	2004.8.3
17	肥満度(BMI)とがん罹患	2004.8.11
18	喫煙と脳卒中罹患	2004.8.24
19	魚・n-3 脂肪酸摂取と大腸がん罹患	2004.9.27
20	飲酒と 2 型糖尿病の発症	2004.10.25
21	喫煙・受動喫煙と乳がん罹患	2004.11.29
22	飲酒とがん罹患	2004.12.24
23	たばこと自殺	2005.1.17
24	コーヒー摂取と肝がん罹患	2005.2.16
25	野菜・果物摂取と大腸がん罹患	2005.5.9
26	食生活パターンと大腸がん罹患	2005.5.12
27	肥満指数・身長と大腸がん罹患	2005.9.8
28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がん罹患	2005.9.14
29	魚・n-3 脂肪酸摂取と虚血性心疾患発症	2006.1.16
30	胃がん検診受診と胃がん死亡率	2006.1.19
31	飲酒と自殺	2006.3.1
32	肥満指数(BMI)、身長と前立腺がん	2006.3.13
33	喫煙と虚血性心疾患との関係	2006.4.11
34	高感度 CRP (C 反応性蛋白)と大腸がん罹患との関係について	2006.4.19
35	特定集団の相対リスクは一般化できるか	2006.5.26
36	食物繊維摂取と大腸がん罹患との関連について	2006.7.20
37	ヘリコバクター・ピロリ菌感染と胃がん罹患との関係	2006.9.4
38	糖尿病とその後のがん罹患との関連について	2006.9.26
39	肺がん家族歴と肺がん罹患との関連について	2006.10.10
40	卵と心筋梗塞発症の関連について	2006.11.17
41	便通、便の状態と大腸がん罹患との関連について	2006.12.20
42	身体活動量と大腸がん罹患との関連について	2007.2.20
43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について	2007.2.21
44	体格と乳がん罹患の関連について	2007.2.21
45	ビタミンC 摂取と老人性白内障発症の関係について	2007.2.27